

株式のご案内

事業年度 1月1日～12月31日
定時株主総会 3月開催
剰余金の配当基準日 12月31日(中間配当を行う場合は6月30日)
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

公告方法 電子公告(<https://www.soir.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

証券コード 8040(東証2部)

【単元未満株式(1～99株)の買取制度のご案内】

○お手続き方法
単元未満株式が記録されている口座によってお手続きの窓口が異なりますので、ご注意ください。

- ①証券会社の口座に記録されている単元未満株式
お取引口座のある証券会社(口座管理機関)にお問い合わせください。
- ②特別口座に記録されている単元未満株式
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部(特別口座の口座管理機関 兼 株主名簿管理人)にお問い合わせください。

お客様相談室 *Customer Service*

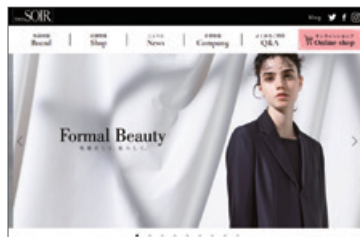
お客様からいただいたお一人おひとりの声を大切に、迅速な対応を心掛けております。いただいたご意見は、さらにお客様に愛されるフォーマルウェアをお届けするために商品やサービスへと反映しております。

03-3475-1253

(土・日・祝日を除く 10時～17時)

ホームページのご案内 *Corporate Site*

当社の最新情報、IR情報など、情報満載のウェブサイトです。



<https://www.soir.co.jp/>

公式SNS *Social Media*

フォーマルシーンに関する情報や新作のお知らせなどを、いち早く紹介しています。

● Twitter

@tokyo_soir



● Facebook

@tokyosoir



● Instagram

@tokyosoir_official



株式会社 東京ソワール

本社 〒107-8604 東京都港区南青山一丁目1番1号
TEL.03-3475-1251(代)



この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT-With the Earth を
通じてオフセット削減しています。

TOKYO SOIR
東京ソワール

Business Report 2021

Formal Beauty

礼儀正しく、私らしく。

株式会社 東京ソワール

第53期ビジネスレポート

2021年1月1日～2021年12月31日

証券コード:8040

経営理念

ファッションビジネスを通じて、日本女性の生活文化向上に寄与するとともに、消費者・株主・従業員の福祉と豊かな生活を実現する。

企業行動憲章

私たちは、「ファッション」に関わる事業に携わる者として、企業の社会的責任を自覚し、事業活動の展開にあたっては、次の6原則に基づき、国の内外を問わず、人権を尊重し、すべての法律、国際ルールを遵守し、またその精神を尊重するとともに、社会的良識をもって、持続的発展に向けて自主的に行動します。

1. 健全な収益の確保
2. お客様に喜びと安心を提供
3. 公正・透明な事業活動の推進
4. 積極的な企業情報の開示
5. 地球環境の保全と人間の尊重
6. よき企業市民としての行動



コーポレートロゴについて *About Corporate Logo*

東京ソワールのコーポレートロゴは、国内外で高い評価を受け、「グッドデザイン金賞」「ロンドンデザイン賞グランプリ」等を受賞されている杉浦俊作氏のデザインによるものです。フォーマルのファッションメーカーらしく、エレガントで、高品質なデザインとして、永く皆様に愛され続けています。



代表取締役社長
小泉 純一

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当アパレル業界におきましては、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置の明けた3月や10月以降には、売上回復の明るい兆しも見えましたが、前期に続き、新型コロナウイルス感染症の再拡大による商業施設の臨時休業や入店規制などにより、消費環境は大幅に悪化いたしました。

このような状況の中、当社は既存販路の活性化に向け、店頭とECとを連携させた置き置き&取り寄せサービスを導入し販売の強化に努めるとともに、仕入れの調整による在庫の適正化を図ってまいりました。また、生活を豊かにするための本質にこだわった、黒色の持つエネルギーとストーリーを届けるライフスタイル提案型ブランド「kuros' (クロス)」を立ち上げるなど、新規事業の展開を開始いたしました。

しかしながら、度重なる感染拡大による業績への影響は非常に大きく、固定資産の譲渡や希望退職者の募集など、事業継続のための施策を実施せざるを得ず、その結果、辛くも最終損益は確保したものの、多額の経常損失を計上することとなりました。このような当期の業績などを総合的に勘案し、誠に遺憾ではありますが、期末配当を無配とさせていただくことといたしました。株主の皆様のご期待に添えない結果となりましたことを、深くお詫び申し上げます。

新年度では、引き続き構造改革に取り組むことで収益構造の見直しを図るとともに、コアのフォーマル事業において、自社主導のショップ運営への転換やオンライン販売の促進により売上拡大に努めてまいります。また、デジタル技術の活用により、お客様の利便性向上やお客様との関係性を強化し、LTV(顧客生涯価値)の最大化に取り組んでまいります。さらに、リサイクル・エコ素材を使用した商品開発、商品の回収・再利用の推進、廃棄商品の削減などの施策を推し進めることで、環境保全やSDGsに寄与するサステナブル経営の取り組みを強化してまいります。

株主の皆様のご期待に応えるべく全社員が一丸となり、新たな成長を目指していく所存です。

今後とも、なお一層のご愛顧、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

◎ 営業の概況

当事業年度における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が抑制される中、ワクチン接種も進み、緊急事態宣言解除後は、一部に景気持ち直しの動きも見られましたが、新たな変異株の発生もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル業界におきましては、前年は相次ぎ中止となった卒入学式等のイベントが本年は再開し、2月から4月にかけては復調の兆しが見られ、また、緊急事態宣言解除後の10月以降は回復基調となりましたが、その間の感染再拡大による緊急事態宣言中は消費需要が大きく低迷したことから、総じて厳しい状況となりました。

このような経営環境の中、当社は収益性の改善を最優先課題として「競争力の強化」と「効率の向上」を重点施策として取り組んでまいりました。

卸売事業におきましては、取引条件の改善や不採算店舗からの撤退を進めるとともに、リアル店舗と自社Eコマースとの連携による「ネットで店舗へ取り置き・取り寄せサービス」や「来店予約サービス」の導入などサービスの充実を図り、販売拡大に取り組んでまいりました。小売事業におきましては、直営店「フォルムフォルマ」では、SNSでのライブ配信によるプロモーションを継続して実施し、Eコマース販売では、引き続き展開商品の拡大と自社ECサイトの改修を重ねるなど、お客様の利便性向上に取り組んだことから、堅調に推移いたしました。また、10月には「礼の日」東京ソワールの礼の日。感謝の日。」と題して、リアル店舗とEコマースと連動した全国的なキャンペーンを実施いたしました。さらに新規事業として、ライフスタイルブランド「kuros' (クロス)」を10月から展開いたしました。

しかしながら、百貨店・量販店販路及び直営店における店頭販売は、緊急事態宣言の期間や休業要請などが前年とは地域により状況が異なったことから、前年を上回ることではできなかったものの、前々年との比較では2割～3割の減少となりました。

このような結果、商品別の売上高は、ブラックフォーマルが78億95百万円(前期比9.4%増)、カラーフォーマルが20億64百万円(同43.4%増)、アクセサリー類が18億62百万円(同17.7%増)となり、当期の売上高は、前期比15億80百万円増の118億22百万円(同15.4%増)となりました。

利益面では、生産仕入の抑制をはじめとした製造コストや評価損の削減に努めたこともあり、売上総利益率は前期比0.7ポイント改善の47.5%となり、売上総利益は同8億19百万円増の56億15百万円(同17.1%増)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費、販売促進費、旅費交通費などあらゆる経費の削減に取り組み、全体では同2億44百万円減(同3.5%減)となりました。

この結果、当期の業績は、営業損失11億85百万円(前期は営業損失22億50百万円)となり、営業外収益においては前期並みの助成金収入2億3百万円を計上し、経常損失は9億11百万円(前期は経常損失19億62百万円)となりました。また、特別損失として事業構造改善費用2億89百万円、減損損失96百万円及び投資有価証券評価損25百万円を計上しましたが、特別利益として賃貸不動産売却益16億84百万円及び投資有価証券売却益88百万円を計上したことから、当期純利益は2億99百万円(前期は当期純損失19億84百万円)となりました。

◎ 対処すべき課題

当社を取り巻く事業環境は、従来から続く人口減少と高齢化の加速、流通チャネルや消費行動等の変化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大により顕在化したフォーマルウェアの着用機会の減少やEコマースへの加速度的なシフト等の変化もあり、不透明な状況が続くことが想定されます。

このような環境下で、当社の課題は事業継続のための収益構造の見直しと持続的な成長を実現するための基礎収益力の回復、加えて地球環境問題への配慮をはじめとするサステナビリティであると認識し、取り組んでおります。

①収益構造の見直し

●棚卸資産回転率の改善

生産・仕入では「売上計画達成を優先した見込み生産・売り減らし」から「初期生産量を抑制し、販売実績をもとにした追加生産」方式へ切り替え、店頭在庫についても「市場シェア獲得の為の商品展開・売場運用」から「効率を重視した商品展開・売場運用」に切り替えて、評価制度と連動させることで商品効率を改善いたします。

●売上総利益率の向上

低採算系列・店舗での取引条件改定、値引き販売の回数削減や負担率の見直し、販路・系列を越えた商品のコントロールによる販売を強化することで在庫処分のスピードを上げ、評価損を削減し、利益率の向上を図ります。

●販管費比率の改善

業務の削減、デジタル化等による業務プロセスの見直し、組織・機能の再編、テレワークの促進により生産性を高めるとともに、不採算の系列・店舗からの撤退により、経費効率を改善いたします。

②基礎収益力の回復

●コア事業であるレディスフォーマル事業の進化

(オムニチャネル施策の推進)

売場のモノポリー化、自社主導のショップ運営への切り替え、SC(ショッピングセンター)への出店を推進し、オンライン(Eコマース)と連携したシームレスな購買体験の実現を図るとともに、ルールとマナーに則した商品に加え、顧客ニーズの変化に対応した商品等を適時・適量展開することにより、既存顧客の購買率向上と新たな顧客の獲得に取り組みます。

(デジタルマーケティングの強化)

コーポレートサイト等による企業価値の発信やSNSの活用を通じて、オンライン・リアル店舗と直結した販売促進、顧客情報の収集・セグメント化、デジタルマーケティング等を活用した顧客との

関係性構築によりLTV(顧客生涯価値)の最大化に取り組みます。

●事業領域の拡大

(レンタルビジネスの拡大)

ネットを主軸として、直営レンタルショップや小売・ショップ(モノポリシー)などのリアル店舗との連携により売上の拡大を図ります。

(ライフスタイル提案型業態の開発)
「黒に魅せられて」黒の持つ無限の可能性とエネルギーを自分らしく生きるすべての方へ届けたい」をコンセプトに、食品、キッチン&ダイニング、リビング、ファッション雑貨を提案するライフスタイルブランド「kuros' (クロス)」を、新規事業として育ててまいります。

③サステナブル経営への取り組み

●リサイクル・エコ素材を使用した商品の開発

持続可能な循環型社会の実現に向けて服作りで貢献するため、繊維メーカー・商社と連携し、サステナブルな素材開発や植物由来の原料を使用した商品開発に取り組みます。

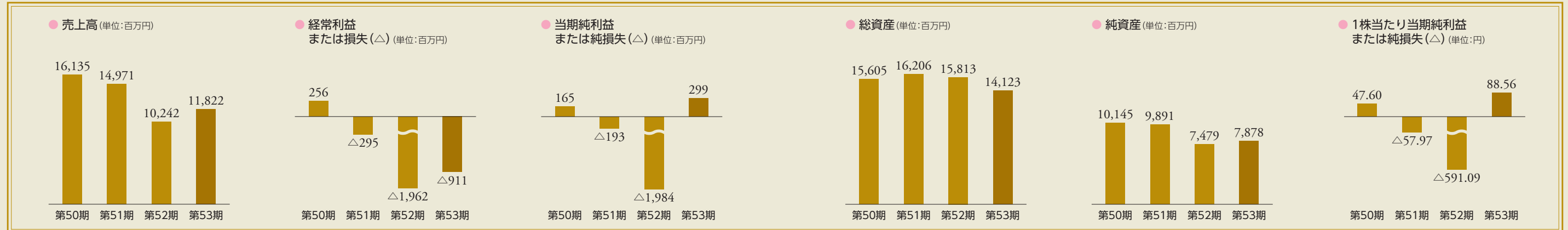
●商品等の回収・再利用の推進

日本環境設計株式会社が行うリサイクルプロジェクト「BRING」を通じて、着用しなくなったブラックフォーマルの再資源化を推進いたします。また、製造時に発生する端切れを使用して、コサージュ等を作成するワークショップを、CSR活動の一環として引き続き実施いたします。

●商品廃棄の縮減

商品生産のコントロールと消化促進、レンタルサービスの提供により、商品廃棄の縮減や適切なリユース・リサイクルに取り組みます。さらに、デジタル技術(取り置き・取り寄せサービス等)を活用した欠品防止対策に取り組むことで、供給量の増加を抑制いたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



財務諸表

Financial Statements

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	第53期	第52期	科 目	第53期	第52期
	2021年12月31日現在	2020年12月31日現在		2021年12月31日現在	2020年12月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	8,365	8,587	流動負債	4,273	6,334
現金及び預金	1,555	787	支払手形	384	65
受取手形	1	3	電子記録債務	829	1,249
電子記録債権	42	41	買掛金	385	369
売掛金	1,784	1,659	短期借入金	900	3,600
商品及び製品	4,413	5,461	未払金及び未払費用	1,063	547
原材料及び仕掛品	164	165	未払法人税等	190	53
前払費用	188	235	返品調整引当金	190	203
その他の流動資産	215	232	その他の流動負債	330	245
固定資産	5,757	7,225	固定負債	1,971	1,999
有形固定資産	2,591	2,723	退職給付引当金	620	638
建物	536	587	その他の固定負債	1,350	1,360
土地	1,964	1,964	負債合計	6,244	8,334
その他の有形固定資産	90	171	純資産の部		
無形固定資産	592	538	株主資本	7,724	7,414
投資その他の資産	2,572	3,963	資本金	4,049	4,049
投資有価証券	1,299	1,238	資本剰余金	3,732	3,732
敷金及び保証金	322	411	利益剰余金	564	285
賃貸不動産	889	2,247	自己株式	△ 622	△ 652
その他の投資	61	65	評価・換算差額等	154	64
資産合計	14,123	15,813	評価・換算差額等	154	64
			純資産合計	7,878	7,479
			負債・純資産合計	14,123	15,813

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	第53期	第52期
	(2021年1月1日から 2021年12月31日まで)	(2020年1月1日から 2020年12月31日まで)
売上高	11,822	10,242
売上原価	6,207	5,447
売上総利益	5,615	4,795
販売費及び一般管理費	6,800	7,045
営業損失(△)	△ 1,185	△ 2,250
営業外収益	386	406
営業外費用	112	119
経常損失(△)	△ 911	△ 1,962
特別利益	1,772	176
特別損失	411	21
税引前当期純利益	449	△ 1,807
法人税、住民税及び事業税	135	34
法人税等調整額	149	142
当期純利益	299	△ 1,984

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	第53期	第52期
	(2021年1月1日から 2021年12月31日まで)	(2020年1月1日から 2020年12月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	671	△ 2,836
投資活動による キャッシュ・フロー	2,996	△ 9
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,899	2,784
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	768	△ 61
現金及び現金同等物の 期首残高	787	848
現金及び現金同等物の 期末残高	1,555	787

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

当事業年度 (2021年1月1日から 2021年12月31日まで)	株主資本								自己株式	株主資本 合計	評価・ 換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本剰余金			利益剰余金			資本剰余金 合計	利益剰余金 合計				
	資本金	資本準備金	その他 資本剰余金	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計						
当期首残高	4,049	3,732	—	3,732	430	1,263	△ 1,408	285	△ 652	7,414	64	7,479
当期変動額												
当期純利益							299	299		299		299
自己株式の取得									△ 0	△ 0		△ 0
自己株式の処分			△ 20	△ 20					30	10		10
自己株式処分差損の振替			20	20						—		—
利益準備金の取崩					△ 430		430	—		—		—
別途積立金の取崩						△ 1,263	1,263	—		—		—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)											89	89
当期変動額合計	—	—	—	—	△ 430	△ 1,263	1,972	279	30	309	89	398
当期末残高	4,049	3,732	—	3,732	—	—	564	564	△ 622	7,724	154	7,878

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



ランパン ノワール

ブラックフォーマルウェア

大切な人を想う気持ちを伝える黒の礼服、ブラックフォーマル。その誕生は約半世紀前に遡り、現在も日本の文化として根付いています。

当社ではブラックフォーマルの開発から現在に至るまで、創業時より培い続けている技術力とノウハウを駆使し、時代に沿ったファッション性の高い洋服づくりを通じて、人と人が想い合うフォーマル文化を継承しております。



アクアスキュータム

カラーフォーマルウェア

フォーマルの場は、人々にとってコミュニケーションの機会であり生活様式の変遷を反映する場でもあります。

昨今では、慶事の捉え方も格式を重んじる華やかな式典から、パーソナルなお祝いまで、様々な形式が選ばれるようになってまいりました。このような時代のニーズに応えながら、着用される方を美しく見せるカラーフォーマルウェアを開発しております。



ソワール ドルチェ

アクセサリー

悲しみの装い、晴れやかなお祝いの装い。アクセサリーは、フォーマルシーンに欠かせないアイテムです。



プチソワール



時には装いのアクセントとして、また時にはお立場を表現するアイテムとして、多様なコーディネートでスタイリングを完成させます。



エモーショナル ドレッシーズ

黒の持つ無限の可能性とエネルギーを届ける

ライフスタイル提案型ブランド 「kuros' (クロス)」



2021年10月、東京ソワールは業界の枠を越え
ライフスタイル全般を扱う新事業
「kuros' (クロス)」の展開を開始しました。



ギフトや日用品として、愛着を持って長く使い続けて
いただける黒に特化したアイテムをご提案。
創業時より追求し続けた
「黒」の持つエネルギーとストーリーを
日常生活にお届けします。

kuros' が届ける黒の魅力



栄養豊富な黒の食材
Food & Drink



洗練された食空間を提案
Kitchen & Dining



シンプルを追求した日用品
Living



素材の美しさが引き立つ
Fashion

kuros' オンラインショップ ▶ <https://kuros.style/>



デジタルとリアルを横断するサービス展開

顧客体験向上への取り組み

お客様に快適にお買い物を楽しんでいただくためのサービス展開を推進しております。

◆ 取り置き・取り寄せサービス

公式通販サイト「フォーマルメッセージ」と実店舗の在庫情報を連携し
オンライン上で店舗の在庫状況を確認、ご希望の購入方法をお選びいただける
サービスです。

● オンラインストアから店舗へ

オンラインストアでお選びいただいた商品を
ご希望の店舗へお取り寄せ・お取り置きしご試着後購入いただけます。

● 店舗からオンラインストアへ

実店舗の商品をオンラインストアへお取り寄せし購入いただけます。



◆ 来店予約サービス

ウェブサイト上でご希望の日時に来店予約ができるサービスです。
事前にご用途をお伺いし、当日は専任のフォーマルアドバイザーがお客様のご希望に沿った商品をご用意、
よりパーソナルな接客をご提供いたします。

フォーマルを身近に感じていただく機会を創出する

「礼の日」キャンペーン

日頃のご愛顧に感謝を伝え、礼服・フォーマルを身近に感じていただく日として
2021年10月1日(金)～11日(月)の期間中、東京ソワール「礼の日」キャンペーンを実施しました。

東京ソワールの
礼服の日・感謝の日。



人生の大切な節目を彩るフォーマルウェアを通して、人々を笑顔にする社会貢献活動に取り組み、持続可能な開発目標(SDGs)の達成へ向けて活動してまいります。



東京ソワール
CSRの取り組み

社会貢献活動



●教育CSR

出前授業

子ども世代にファッションの楽しさを伝えるため、出前授業を実施しています。本年は状況に応じて、対面型とオンライン型の対応を取りました。



職業体験プログラム

デザイナー体験等のワークショップを実施し、小中学生のキャリア教育の一端を担っています。



フォーマルマナー講座

社会の一員として身につけておきたいフォーマルウェアの基礎知識。学校や各種団体にて、ご要望に応じたマナー講座を開催しています。

●支援活動

高齢者支援

港区在住の一人暮らしの高齢者に暑中見舞いや年賀状を贈る活動“かんがり”に参加しています。また、高齢者施設には端切れで作るコサージュの材料を提供するなど訪問せずにできる活動を積極的に行っています。



被災地支援

被災地への寄付を目的としたチャリティセールを実施しています。

ピンクリボン運動

啓発活動により乳がんの早期発見・治療を目指し、患者様とご家族に対する支援や活動を行う「ピンクリボン運動」を実施しているNPO法人J.POSHのオフィシャルサポーターとして支援を継続しております。



環境への取り組み



●循環型社会実現のための取り組み

リサイクルキャンペーン

2019年より、着用されなくなったブラックフォーマルを回収し新たな資源に生まれ変わらせる「リサイクルキャンペーン」を継続して実施しております。回収した衣類は日本環境設計株式会社が行うリサイクルプロジェクト「BRING」にて新しい衣類の原料や自動車内装材に再資源化され、地球の資源へ循環されます。



東京ソワールのサステナブルフォーマル

持続可能な循環型社会実現のため人と環境にやさしいフォーマルウェアを提案します。

- ご自宅でお洗濯いただけるフォーマルウェアの提案
- 植物由来の原料を使用した商品開発
- 原糸メーカーとの取り組みによるサステナブルな素材開発



●アパレルの廃棄問題解決を目指す取り組み

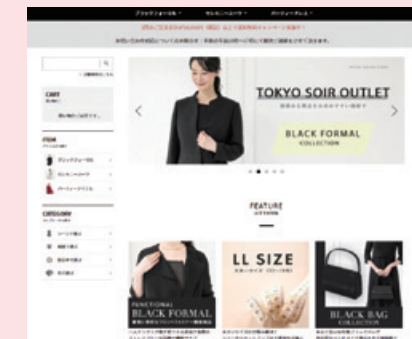
東京ソワールアウトレット オンラインストア

持続可能な循環型社会に貢献する環境配慮の取り組み強化の一環としてアウトレットのオンラインストアを新たに開設いたしました。

当オンラインストアでは、サイズ欠品やシーズン経過により店頭にはなくなった商品を取り扱います。当該商品の販売をオンラインで全国に拡大し、深刻化するアパレルの廃棄問題の解決を目指します。



東京ソワールアウトレット
オンラインストア



会社概要／役員／沿革／株式の状況 *Corporate Information*

会社概要 (2021年12月31日現在)

商号	株式会社東京ソワール
本社所在地	東京都港区南青山一丁目1番1号
設立	1969年1月23日
資本金	4,049,077,623円
主な事業内容	婦人用フォーマルウェアの製造・販売ならびにアクセサリ類の販売
従業員	248名、その他販売員及び臨時従業員1,508名
主な事業所	本社 〒107-8604 東京都港区南青山一丁目1番1号
	関西支店 〒542-0081 大阪市中央区南船場二丁目5番12号
	川崎商品センター 〒210-0821 川崎市川崎区殿町一丁目19番12号

役員 (2022年3月29日現在)

代表取締役社長	小泉純一
取締役常務執行役員	青山秀夫
取締役上席執行役員	大島和俊
取締役上席執行役員	小林義和
社外取締役	石井銀二郎
取締役監査等委員(常勤)	山田倫司
社外取締役(監査等委員)	野村浩子
社外取締役(監査等委員)	岡本雅弘
社外取締役(監査等委員)	瀧村竜介
上席執行役員	吉村暢晃
執行役員	齊藤兼文
執行役員	十代田正
執行役員	高木浩一郎

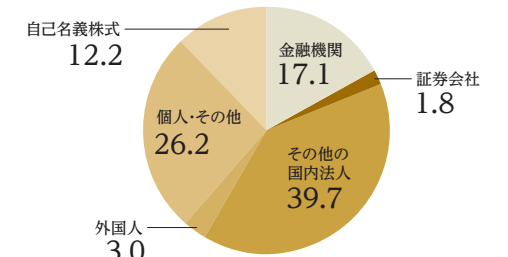
株式の状況 (2021年12月31日現在)

- 発行可能株式総数 14,000,000株
- 発行済株式の総数 3,860,000株
(自己株式471,674株を含む)
- 株主数 1,767名
- 大株主

株主名	持株数	持株比率
フリージア・マクロス株式会社	6,519 百株	19.23 %
田村駒株式会社	1,802	5.32
伊藤偉平	1,666	4.91
株式会社みなと銀行	1,651	4.87
株式会社三菱UFJ銀行	1,640	4.84
帝人フロンティア株式会社	1,610	4.75
株式会社みずほ銀行	1,140	3.36
東京ソワール取引先持株会	1,094	3.23
明治安田生命保険相互会社	884	2.60
旭化成株式会社	800	2.36

(注) 1. 当社は、自己株式を471,674株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
 2. 株式会社日本カストディ銀行(信託E0)が、基準日現在に所有する当社株式45,700株を自己株式に含めて計算しております。
 3. 前事業年度末において主要株主でなかったフリージア・マクロス株式会社は、当事業年度末現在では主要株主になっております。
 4. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

●株式の分布状況(%)



金融機関	661,441 株
証券会社	69,936 株
その他の国内法人	1,532,555 株
外国人	113,799 株
個人・その他	1,010,595 株
自己名義株式	471,674 株

沿革

1954年(昭29年)	児島絹子が東京都世田谷区に「ソワール洋装店」オープン	1977年(昭52年)	名古屋市中区に中部営業所を開設	1991年(平3年)	川崎商品センター増築工事完了による物流体制の拡充	2015年(平27年)	株式会社ワールドとのライセンス契約ブランド「リフレクト」発表 中部営業所を中区から東区へ移転 札幌営業所を閉鎖
1969年(昭44年)	「株式会社東京ソワール」を資本金200万円にて設立	1978年(昭53年)	札幌営業所を開設 本社を現在の東京都港区南青山に移転	1992年(平4年)	表参道店新築完成	1971年(昭46年)	「黒のフォーマル」に製品を特化し、その後の成長基礎を築く
1971年(昭46年)	「黒のフォーマル」に製品を特化し、その後の成長基礎を築く	1981年(昭56年)	神奈川県川崎市に川崎商品センターを開設	2003年(平15年)	中部営業所を千種区から中区へ移転	1973年(昭48年)	関西方面取引拡大のため関西出張所を開設
1973年(昭48年)	関西方面取引拡大のため関西出張所を開設	1982年(昭57年)	関西営業所を支店とする	2006年(平18年)	株式会社ワールドと提携 新ブランド「ランバン ノワール」発表 関西支店を立売堀より南船場へ移転	1974年(昭49年)	本社を東京都渋谷区桜丘町に移転。取引店舗全国69店舗となる
1974年(昭49年)	本社を東京都渋谷区桜丘町に移転。取引店舗全国69店舗となる	1984年(昭59年)	川崎商品センター増改築工事完成、物流機能の集約化 東京都渋谷区に表参道店開設	2007年(平19年)	自己株式の消却を実施 (消却前の発行済株式総数に対する割合は10.32%)	1975年(昭50年)	世田谷商品センターを開設 浅丘ルリ子と契約、テレビCMを中心に宣伝を開始しフォーマル市場の拡大を行う 関西出張所を営業所とする
1975年(昭50年)	世田谷商品センターを開設 浅丘ルリ子と契約、テレビCMを中心に宣伝を開始しフォーマル市場の拡大を行う 関西出張所を営業所とする	1986年(昭61年)	店頭登録による株式公開及び、公募増資の実施	2008年(平20年)	新ブランド「ウンガロ・ソワ」発表	1976年(昭51年)	福岡市に九州営業所を開設、取引店舗100店舗となる
1976年(昭51年)	福岡市に九州営業所を開設、取引店舗100店舗となる	1988年(昭63年)	東京証券取引所市場第二部に上場	2010年(平22年)	イオンレイクタウンに「フォルムフォルマ」1号店オープン	2017年(平29年)	意思決定の迅速化と収益管理の強化を目指し、機能別組織体制から製販一体の組織体制へ移行
				2013年(平25年)	株式会社ワールドとのライセンス契約ブランド「INDIVI」発表	2018年(平30年)	株式会社レナウンとのライセンス契約ブランド「アクアスキュータム」発表
						2019年(平31年)	九州営業所を閉鎖
						2019年(令元年)	「東京ソワール レンタルドレス 表参道店」を新規出店
						2020年(令2年)	商品供給プロセスの変革とデジタルトランスフォーメーションの推進を目的とした組織体制へ移行
						2021年(令3年)	中部営業所を閉鎖